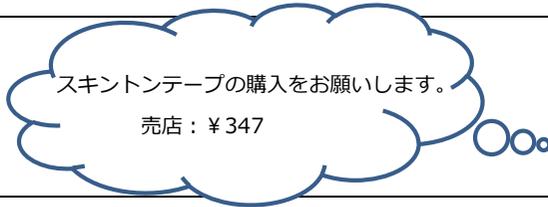


橈骨遠位端骨折の治療を受けられる患者さまへ

病名:(右 左) 橈骨遠位端骨折 手術:骨接合術

月/日	/	/	/	/	/	/	/ ~ /	/	/	/	/	/	/	/
経過	入院日 (手術前々日)	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3~6日目	7日目	8~9日目	10日目	11日目	12~13日目	14日目	
達成目標	入院生活・手術について理解出来る		①痛みのコントロールが出来る。③創部に問題がない(出血・皮下出血等)、手術の合併症がない(しびれ等) ③安静度を守り転倒なく過ごせる。											
治療	シーネ固定がある際は、看護師で医師の指示のもと、適宜まき直します。										医師の回診で傷の抜糸を行います。		抜糸の翌日、傷の状態がよければ傷の貼付剤は除去します。必要時、テープを貼付することがあります。	
処置	傷やその周囲へ血液排出する管(ドレーン)を留置する事があります。				回診で傷を消毒し、ドレーンを抜きます									
薬剤	これまで服用していた薬の内容が一部変更になることがあります		状態に応じ術前々日~当日朝にかけ下剤、浣腸を行います		<ul style="list-style-type: none"> ●手術前より点滴を開始します。 ●点滴は手術翌日まで持続して施行します。 ●術後と術翌日、術後2日目まで1日2回の抗生剤の点滴があります。 ●術後1日目より痛み止めの薬を飲みます。 									
リハビリ					医師の許可が出たら状態に応じてリハビリを開始します									
検査					手術室でレントゲン撮影 手術後採血があります。		採血をします 		 検査 採血、レントゲン撮影		 検査 採血、レントゲン撮影			
活動	 制限はありません		基本ベッド上安静です ふらつきがなければ トイレ可		基本制限はありませんが、術後三角巾を使用することがあります。									
食事	食事・水分摂取が可能です。		21時以降は 絶飲食です。		終日絶食です。 		腸の動き、排ガスを確認後、飲食が始まります。							
清潔	清拭用タオルをお渡しします		清拭後、 術衣へ着替えま す		清拭・更衣をしていきます				初回包交後、傷の状態に応じて清拭・シャワー浴を開始します。 					
説明	主治医より手術の説明があります 指輪、義歯、眼鏡等は手術の際外す必要があるため確認します		手術に必要な物品を準備します 麻酔科医と手術室看護師より説明があります		手術中は御親族の方に 家族待合室で待機して頂きます 御親族の付き添いが難しい場合は看護師 まで連絡をお願いします				 <p>スキントンテープの購入をお願いします。 売店：¥347</p>				看護師より退院後の生活について説明いたします 	
その他			手術後に主治医より説明があります		術後、心電図、酸素マスク、尿の管の挿入をすることがあります。				ドレーン抜去後に中止していた薬を再開します。					

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わります。

2021年1月1日 クリニカルパス委員会承認